

新潟市PTA

令和8年
第53号
3月

Contents

- P1 … 広報紙コンクール結果発表／来年度広報紙コンクール予告 P3 … PTA交流会／会長挨拶／委員会活動報告／活動・行事予定
P2 … 市P連研究大会／日本PTA全国研究大会 P4 … 総合補償制度のお知らせ／編集後記

令和7年度 広報紙コンクール結果発表



小学校の部 最優秀賞「やまなみ」第162号

小学校の部

最優秀賞

「やまなみ」 巻南小学校PTA

優秀賞

「あおやま」 青山小学校PTA

奨励賞

「しののめ」 葛塚東小学校PTA

「わかたけ」 丸山小学校PTA

「ふたかわ」 両川小学校PTA

「のびゆく芽」 早通小学校PTA

中学校の部

最優秀賞

該当なし

優秀賞

「大江山」 大江山中学校PTA

「曾野木」 曾野木中学校PTA

奨励賞

該当なし

今年度の広報紙コンクールの審査には昨年度に引き続き、新潟日報社編集局総務の杉崎文治様をお迎えし、作り手の思いが伝わるか、読み手に寄り添っているか、見出しや写真・イラストが適切に配置されているかの3点を重視して審査が行われました。

審査委員長講評

令和7年度新潟市小中学校PTA広報紙コンクール 広報紙本来の役割を高く評価

新潟日報社編集局総務 杉崎 文治 氏

昨年度に引き続き、審査を担当させていただきました。本年度も作り手の思いが伝わるか、読み手に寄り添っているか、見出しや写真・イラストが適切に配置されているかの3点を重視しました。

小学校の部最優秀賞の巻南小学校は「校長・教頭・会長による三者対談」と銘打って2号に渡ってロングインタビュー（鼎談）を掲載しました。導入して2年目となる「PTAボランティア制」について導入の経緯や狙い、課題などを示しました。PTA活動に対して広く理解を訴えるという、広報紙としての本来の役割を果たす内容を高く評価しました。ロングインタビューを3月号と7月号に分けて掲載しました。できれば、期間を空けることなく同じ号の中で一度に掲載された方がよかったとも思います。長尺な内容を収容するためにも、見出しを適切に配置していく工夫があれば、さらによくなったと思います。

小学校の部優秀賞は青山小学校でした。中学の部の最優秀賞は該当なし、優秀賞は大江山中学校と曾野木中学校の2校でした。全体を通しての感想は、カラフルで楽しそうな行事紹介が多い印象でした。1面に大きな写真を配し、目次を入れて、ページをめくりたくなる工夫も見られました。一方で、イベントごとのテーマは示してあるものの、内容を端的に示す見出しを付けていない記事が目立ちました。読み進めたくなる見出しを付ける工夫を続けてほしいと思います。

本年度は市小中学校PTA連合会の「広報紙セミナー」の講師を務めさせていただきました。その経験を通して思うことはみなさん、他校の広報紙を閲覧する機会が意外にないということでした。各校の紙面を共有してスキルの向上に役立てる機会が持てるとよいと思います。また、昨今は紙ではなく電子上の配信で広報を出している学校が増えているようです。こうした電子版の広報紙もコンクールに参加できるようになると、間口が広がるように思います。

最後になりましたが、広報紙を作成された各校のみなさまに心から敬意を表します。今後も素晴らしい紙面に出合えることを楽しみにしています。

令和8年度 広報紙コンクール&広報紙セミナーのお知らせ

PTA広報紙コンクールは、各校で発行されている広報紙を広く募集し、優秀作品を表彰することによりPTA広報活動の活性化を促進し、PTA活動の一助とすることを目的として、(公社)日本PTA 全国協議会の主催で毎年開催されています。来年度も例年同様6月に開催予定です。確定次第、各学校に応募方法等をご案内いたしますので、多くの学校からのご応募をお待ちしています。

毎年ご好評をいただいている広報紙セミナーは、6月6日(土)にPTA総会終了後に開催を予定しています。こちらも多くの方からのご参加をお待ちしています。

令和7年度 新潟市P連「秋の研究大会 江南区大会」

11月8日(土)、江南区文化会館にて新潟市小中学校PTA研究大会江南区大会を開催しました。今年は、CHIBI UNITY代表をつとめる国友慎之助様を講師にお迎えし、「たくましく生きる力を育てるPTA」をテーマにご講演いただきました。

ゼロから立ち上げたCHIBI UNITYの実例をあげながら子どもの可能性について、今、親としてどんなことが出来るのかといったお話から、これからのビジョンなどについてわかりやすくお話をいただきました。

ダンスと関連を付けながら、今取り組んでいるダンスとの4つの柱、ダンス×教育、観光、医療、農業について、またどの様にして子供の可能性を引き出すかなどの具体的な説明がありました。ダンス×教育では、年間300回ほど学校訪問を実施されており、子どもと関わりあいながら体を動かし、ダンスを楽しみながら、引いては全国各地の指導員・教員のカリキュラムを作成したい、ダンスを突破口としてスポーツおよび表現することの奥深さを感じてほしいとの思いを述べられていました。

また、日本から積極的に海外へもダンスを売り込むことにより、英語を自然に学べる環境も提供したいと語られていました。ダンスをコミュニケーションツールとして活用し、ダンスを通して子どもたちが1つ1つ成功体験を積み重ねることにより、今後のよりよい成長に繋がるようにと思いつながりながらダンスを考えているとのこと。

参加者からは「現在中学も部活動がなくなる傾向にある。学校外で行うスクールと学業の両立をどのようにさせたらよいか」との質問があり、「スクールも好きであれば一生懸命にする、そこから学業についても大切であることを伝えながら、両立していくようにさせる」とお答えいただきました。

今回の研究大会をきっかけにして、各地でさらに学校以外でも活躍できる場があることを認知し、そこから学業もさらに頑張る気持ちにさせられるよう、市P連として今後も情報発信の機会を増やしていければと考えています。



日本PTA全国研究大会 石川大会

8月22日、23日に石川県にて、第73回日本PTA全国研究大会石川大会が開催されました。新潟市小中学校PTA連合会からは、佐久間会長をはじめ本部役員が参加してきましてので、その概要を報告します。(詳細版をHPで公開しています)

全体会 基調講演

「能登の創造的復興と学びの環境」～学習環境の魅力化あってこそその復興

講師 石川県副知事 浅野 大介 氏

「GIGAスクール」
ができるまで

- 日本のネット環境は時代から取り残された空間だった
行政の責任、なんとかしよう → 経済産業省で「未来の教室」実証事業がスタート
- 経済社会で起こるイノベーションを学校にも
当時の基本コンセプトは、創ることと知ることが循環すること
→作り出すには物の道理が必要、だから物理や化学などの基本が必要
→ワクワクが循環を回す 個別最適に、分野横断になるよう学びを再構築

「なにゆえの教育DX」だったか

- 「デジタル教育」なんて目指していない
「教育DX」 = 学び方の「組み合わせ自由化」
→オンデマンド(必要に応じて個々のペースで)とライブ
- 先生が一斉に授業する形は極力減らせるはず
世の中には良い教材は転がっている(YouTubeなど)
→生涯学び続けられる力をつけるために、「先生が教えてくれる」からの脱却を
- 千代田区立麹町中学校の事例(GIGAスクールの未来の姿)
筋トレ(インプット)は個々の能力にあわせたトレーニングプログラムを
デジタルドリルの良くないところ:「わかったつもり」はアウトプットで確認
- 学びの探求(教科の横断)
理科の先生と家庭科の先生が一斉に授業すると料理の話ができる
「てんぶらのサイエンス」:てんぶらを科学する。サクサクの衣、ベタっとした衣の違いは、
グルテン生成(水の温度)、熱の伝わり方などで説明可能

まとめ

- PTAは様々な人が集まる → 紹介、人つなぎが可能
先生とPTAでフィールドワークを行い、教科横断型授業のネタ探し
- 「昨日より今日、今日より明日」日々の小さな進歩を感じられるように(AIも活用を)

「教育DX」=学び方の「組み合わせ自由化」

	対 面	オンライン(スクリーン越し)
オン・デマンド (個々のペースで)	質問や相談に行く (1on1面談)	知識や技術の習得のために、 講義動画やドリルに取り組む (個別学習)
ライブ	大勢で場集まって議論する (ゼミナール)	ビデオ会議で国・地・ 地域・学校を超えて議論する (ゼミナール)

教員自身が「教科を越境」する、対話の作り方

<教科横断型授業アイデアの例>

- 国語×数学 → 証明活動を通じた文章表現
- 社会×数学 → 社会的事象の統計処理・結果考察
- 化学×公共 → 公害・環境
- 倫理×生物 → 生命倫理
- 化学×家庭 → 調理実習での化学変化
- 数学×体育 → 動作解析・バイオメカニクス

分科会

8月22日(金)の1日目は、石川県内の複数の自治体で分科会が開催されました。本部役員は第1、2、3、4、6分科会にそれぞれ参加してきました。参加レポートはホームページで公開しています。

- 第1分科会【家庭教育】「子供は家でこそわがままであれ」(法務少年支援センター仙台 佐藤 健司 氏)
- 第2分科会【学校教育】「子どもの未来に思いを馳せる」(前加賀市教育長 島谷 千春 氏)
- 第3分科会【地域連携】「教訓を生かす 学校・地域との連携」(輪島市教育長 小川 正 氏)
- 第4分科会【人権教育】「多様性は「ある」けど「ない」:ジェンダー平等と子どもたち」(群馬大学情報学部准教授 高井 ゆと里 氏)
- 第5分科会【広報活動】「学校が楽しくなる!仲間が集まる広報活動」(金沢学院大学准教授 牧場 茂樹 氏ほか)
- 第6分科会【SDGs】「質の高い教育環境を整えるために」(金沢工業大学 SDGs推進センター所長 平本 督太郎 氏)
- 特別第1分科会【PTA活動】「サステナブルなPTA活動を構築するために」(元日本PTA全国協議会会長 東川 勝哉 氏)
- 特別第2分科会【学校教育】「学校教育における防災の学び」(文部科学省総合教育政策局 木下 史子 氏)

新潟市PTA交流会

2月14日(土)、万代シルバーホテルにて新潟市PTA交流会を開催しました。市内の76校の小中学校から約140名の方が参加しました。交流会では、今年度行われた広報紙コンクールの表彰に加え、文部科学大臣表彰など各種の表彰・賞状伝達を行いました。

その後に行われた研修会では、小児科医で新潟市教育委員の和田有子様を講師にお迎えし「大人のアップデート」



をテーマに『メディアとのつき合い方を考える～子どものICTリテラシーとは～』と題した講演をいただきました。

講演では「脳が壊れる」というドキッとするような表現もありましたが、「どのように壊れるのか、なぜ壊れるのか」や「どうすれば防げるのか」を丁寧に解説していただきました。たとえば、キャンプやお菓子作りなど、メディア以外の楽しい事を一緒に探してみるなど、メディア依存を防ぐ具体的な対策を教えていただき、大変勉強になりました。

講演後には、5～6名のグループに分かれ『アップデートできたことは何か?』『明日から家庭でできることは何か?』をテーマにグループワークを行いました。

参加者からは、夫婦で情報を共有して一緒に楽しめることを探す、親も一緒に携帯を触らない時間を作るなどの声があがっていました。メディアとのつき合い方は、PTAにとって関心が高く、非常に活発な意見交換が行われました。

今回の研修が参加者にとって有益なものとなるよう、各単位PTAで研修内容を共有いただき、保護者を含め子どもたちのメディアとのつき合い方が改善されることを願います。



会長あいさつ

本年度、市P連では区P連の活動を見直す大きな改革を行いました。各区で子どもたちを真ん中に据えた丁寧な話し合いが重ねられました。

イベントを実施した区では、子どもたちのキラキラと輝く笑顔や、親子で楽しむ温かな姿がとても印象的でした。しかし、事業を実施することだけがPTA活動ではありません。子どもたちのことを思い、大人同士が熟議を重ね、つながりを深めていくことも、かけがえない大切な活動です。

学校を広い心で包み込み、家庭でのふれあいを通して子どもたちを育む。そして、子どもたちにとって安心できる「こころの居場所」をつくる——。私たち大人にできることは、まだまだたくさんあります。

本年度の皆さまのご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



佐久間 沙都美
(木崎中)

令和7年度の委員会活動

新潟市小中学校PTA連合会では3つの委員会を設け、こどもたちや保護者に少しでも寄り添い、健全に成長できる環境づくりを支援すべく活動を進めています。

調査研究委員会

本年度の調査研究委員会は、任意加入制度と個人情報取り扱い、PTAの諸問題等を調査し、単位PTAの充実した活動に繋げるべく活動いたしました。

近年、全国的にPTAの在り方や、組織体制が大きく変化する中でも、普遍的なものは、PTAの存在意義と、コンプライアンスの重要性であると考えます。

PTAが抱える課題は多岐にわたり、特にPTA会員減少に直面している単位PTAが多くある中で、会員からの理解と協力を得るためにも、適正かつ透明性のある組織運営が求められるはずで

当委員会の本年度の活動が、各校が抱える諸問題の解決の一助となれば幸いです。

結びに、当委員会メンバーをはじめ、活動に際しご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

事業委員会

当委員会は、市P連主催事業の企画・運営を行っています。

春の研究大会では、ひきこもり・不登校についてご講演いただいた後、不登校児童に対してPTAとしてできることなどをテーマにグループワークを実施し、「親としての気づきがあった」といった声をいただきました。

PTA役員研修会では、役員決めの困難さ、活動のデジタル化などのテーマから興味のあるものを選んでいただき、熱心な意見交換が行われました。

2月の交流会では、メディアとの付き合い方についてご講演いただき、その実態について学ぶとともに、子どもたちに対する大人の接し方についてアップデートする場となりました。

今後も保護者の皆様のつながりを生む場をご提供いたします。

広報委員会

当委員会では、ホームページの更新と年2回発行の広報紙による情報発信をはじめ、広報担当者向けの広報紙セミナーの開催や広報紙コンクールの審査などに取り組みました。

今年度も広報紙セミナーを総会終了後に同会場内で開催し、広報担当者の方から多数ご参加をいただき、非常に活発な質疑が行われていました。

一方で、これまでの紙による広報紙を発行している学校は徐々に少なくなっており、広報の形も様々に変化をしています。PTA活動の中における広報の役割について改めて見つめなおし、より効果的な広報が行えるよう、広報委員会でも事例収集や検討を重ね、皆様に有意義な情報を発信していきたいと思ひます。

令和8年度の主な行事予定

多くの方からのご参加をお待ちしております。

総会・春の研究大会
(広報紙セミナー同時開催)

6/6(土)
万代シルバーホテル

日本PTA全国研究大会
奈良大会

8/21(金)・22(土)
奈良県天理市 他

新潟市P連「役員研修会」

7/11(土) 新潟青陵大学

新潟県PTA研究大会 阿賀野大会

10/24(土) 阿賀野市

新潟市P連「交流会」

2/13(土)
万代シルバーホテル

区P連の各種活動

秋頃 各区にて開催

(一社)新潟県PTA安全互助会からのお知らせ

<安全普及啓発活動に助成します!>

新潟市P連・新潟県P連所属のPTA会員の安全と健康に関する意識の向上を図り、その活動を奨励するために助成金を交付しています。

助成額 新潟市P連・新潟県P連の単位PTA 2万円以内

申請方法 申請書等の様式のダウンロードは、ホームページで検索してください。
新潟市PTA連合会 → (一社)新潟県PTA安全互助会のページ
◎必ず活動前に申請が必要です。

申請事例

○自転車交通安全教室 ○通学路の安全点検・標識政策 ○防災講演会 ○スポーツ障害防止研修会 ○野生動物から身を守る講演会 ○救急法講習会 ○「ネットトラブル」防止研修会
○思春期講座 ○薬物乱用防止教室 ○人権講演会(いじめ・人間関係づくり) ○疾病予防講演会(うつ病・自殺予防) ○けがや病気を予防する栄養講演会

新潟市小中学校PTA連合会・新潟県小中学校PTA連合会 会員のみなさまへ

一般社団法人 新潟県PTA安全互助会の任意加入の制度です

小・中学生総合補償制度

令和8年度

(団体総合生活保険)

団体割引等

最大 **51%** 割安

こどもが学校から借りた
タブレットを壊してしまった

こどもが自転車で
他人にけがをさせてしまった

こどもが
いじめにあっていた*

弁護士への相談*

こどもが
熱中症になってしまった

イラスト©東京海上日動

*一部対象とならないプランがございます

学校内・部活動中・通学中・プライベートを問わず **24時間** しっかりサポート

WEB申込受付締切日

第1次 令和8年3月31日 (火)

第2次 令和8年4月30日 (木)

お申し込みは、
スマートフォン・タブレット・パソコン
から簡単に手続きできます



(1次募集用)

書面でのお手続きも可能です。お問い合わせ先までご連絡ください。

お手続きなど詳細は、1月以降に学校から配布されたパンフレットをご確認ください。

- 制度に関するお問い合わせ先
一般社団法人新潟県PTA安全互助会
(取扱幹事代理店 有限会社新潟コーリン)
〒950-0965
新潟市中央区新光町7-2 新潟県商工会館5F
TEL 025-280-0361
(受付時間/月曜～金曜 9:00～17:00)
● 非幹事代理店 よりそう保険コンシェル株式会社

- 【引受幹事保険会社】
東京海上日動火災保険株式会社
【引受非幹事保険会社】
共栄火災海上保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
損害保険ジャパン株式会社
AIG損害保険株式会社



©新潟県

この広告は団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。*保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他に契約されているときには、補償が重複することがあります。

募集文書番号25TX-005733 2026年2月作成

編集後記

第53号では令和7年度に行われた市P連主催事業や活動報告のほか、本部役員が参加した全国研究大会の内容についても紹介させていただきました。今後も積極的に情報をアップデートし、こどもに関わるすべてのPTA会員の皆様に還元していきたいと思っております。
来年度の広報活動についてご要望があれば事務局までお問い合わせください。引き続きよろしくお願いいたします。

<広報委員会>

委員長 大旗 裕一郎
副委員長 頓所 直子 比金 克久
委員 金田 隼人 北畑 麻里奈
村上 清太郎 齋藤 哲也
鶴巻 吾朗 水野 のどか
田中 絢子 伊藤 諭巳
坂内 徹

\\ホームページもご覧ください!\\

新潟市小中学校PTA連合会

検索

〒950-0088
新潟市中央区万代1-3-30
万代シテイホテルビル3F
TEL:(025)242-0177

